

庵原 美香

専任講師

研 究 業 績

2025 年 4 月 1 日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年 月
論 文（単）	「被災者のスピリチュアルペインに配慮したソーシャルワーク実践モデルに関する研究－東日本大震災による住家全壊被災者の語りが示すもの－」同志社大学大学院博士学位論文	2024. 3
論 文（単）	「東日本大震災による住家全壊被災者のスピリチュアルペインの経験とプロセス－語りの分析が示すソーシャルワーク実践の課題－」『社会福祉学』第 64 巻 2 号 27-40 頁	2023. 8
論 文（単）	「ソーシャルワーク実践にスピリチュアルペイン概念を導入することの意義と研究課題－国内外の文献研究より－」『評論・社会科学』第 142 号、121-158 頁	2022. 9
論 文（単）	「災害ソーシャルワークにおけるスピリチュアリティの視点と研究課題について－海外文献レビューより－」『キリスト教社会福祉学研究』第 53 号、81-97 頁	2021. 1
論 文（単）	「災害における被災者のスピリチュアルペインとソーシャルワーク・アプローチ－災害ソーシャルワークへの示唆－」同志社大学大学院修士論文	2018. 3
論 文（共）	「“オール京大”の防災研究の取り組み－地域医療 BCP『京都モデル』の構築を目指して－」『地域連携 入退院と在宅支援』日総研出版、第 14 巻 5 号、49-55 頁 (趙晃済・庵原美香)	2021. 11
その他（単）	「博士学位を取得して」『同志社大学社会福祉教育・研究教育センターNews Letter』No.38、18-19 頁	2024. 9
その他（単）	「スピリチュアリティに配慮したソーシャルワーク実践とは何か－東日本大震災における被災者の語りを手がかりに－」Palliative Care Research Supplement Kansai 号 17 巻、S577 頁	2022. 10
その他（単）	「【第 1 回】私が進んできた社会福祉の道」『初期キャリア研究者のリレーエッセイ』日本社会福祉学会 HP (https://www.jssw.jp/activity/researcher-support/relay-essay/researcher-ihara/)	2021. 4
その他（単）	「小池先生へ感謝を込めて－お守りにしてきた言葉－」『小池薫教授退官記念誌』京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野、26 頁	2021. 3

その他（共）	「もっと地域とつながる－救急患者さんは『地域力』で支える時代へー“患者さんのニーズは何かを考え支援をつなぎます”」『京大病院広報』第 120 号、8 頁	2020. 4
その他（単）	「日本ソーシャルワーク学会第 33 回大会報告」『同志社社会福祉学』第 30 号、146-7 頁	2016. 12
口頭発表（単）	「MSW の視点から小児外科における信頼関係構築のあり方を考える」第 1 回日本医療安全推進学会学術総会、パネル討論会小児外科における信頼関係構築のあり方、於東京大学本郷キャンパス医学部 1 号館	2025. 2
口頭発表（単）	「多職種連携－MSW(社会福祉士)の視点より－」第 1 回日本医療安全推進学会学術総会、多職種連携シンポジウム、於東京大学本郷キャンパス医学部 2 号館	2025. 2
口頭発表（単）	「スピリチュアリティに配慮したソーシャルワーク実践とは何かー東日本大震災における被災者の語りを手がかりにー」日本緩和医療学会第 4 回関西支部学術大会、シンポジウム③多職種で考えよう！スピリチュアルケアの実践、於 Web 開催	2022. 9
口頭発表（単）	「被災者のスピリチュアルペインに関する研究－エピソード記述の試み－」同志社大学社会福祉学会第 33 回年次大会、於同志社大学	2018. 12
口頭発表（単）	「災害における被災者のスピリチュアルペイン顕在化に関するインタビュー調査－東日本大震災にて津波被害のあった被災者を対象として－」日本社会福祉学会第 66 回秋季大会、於金城学院大学	2018. 10
口頭発表（単）	「スピリチュアルペイン概念の分析と研究意義の検討－スピリチュアルペイン概念がソーシャルワークにもたらすものとは、文献研究と実践の見地から－」日本ソーシャルワーク学会第 35 回大会、於川崎医療福祉大学	2018. 7
口頭発表（共）	「連携型 BCP/地域 BCP 策定モデル地域 京都府京都市左京区における取り組み」令和 4 年度厚生労働省委託事業 在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型 BCP・地域 BCP 策定に関するモデル地域事業進捗報告・意見交換会、於 Web 開催 (庵原美香・大鶴繁・牧紀男・倉田真宏・趙晃済・柚木知之・堤貴彦・山田博之・森智治・岸本和昌・相田伸二・樋口浩和・山中雄一)	2023. 3
口頭発表（共）	「京都市左京区における地震応答推定システム導入による病院間ネットワーク構築と地域医療連携への応用」第 28 回日本災害医学会総会・学術集会、於マリオス(岩手) (趙晃済・倉田真宏・庵原美香・相田伸二・堤貴彦・牧紀男・大鶴繁)	2023. 3

口頭発表（共）	「多職種地域連携研究：地域医療 BCP 連携研究分野の取り組み」第 25 回日本災害医学会総会・学術集会 ワークショップ 阪神淡路大震災 25 年 WHO 神戸センター開設 25 年 WKC フォーラム：これでいいのか、災害医学研究！～よりよい Operational research と研究成果の活用を目指して～、於神戸国際会議場（下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・相田伸二・庵原美香・杉山治・倉田真宏・牧紀男）	2020. 2
口頭発表（共）	「地域医療 BCP 連携研究分野が取り組む災害・健康危機管理研究の国際的枠組みと重点領域」令和元年度 京都大学防災研究所研究発表講演会、於京都大学防災研究所（下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・庵原美香・樋口浩和・相田伸二・杉山治・鈴木教雄・倉田真宏・牧紀男）	2020. 2
口頭発表（共）	“ Multidisciplinary Approaches For Strengthening Hospital Disaster Preparedness” 18th International Conference on Emergency Medicine. (COEX, Seoul) (Kosai Cho, Shigeru Ohtsuru, Manabu Shimoto, Takahiko Tsutsumi, Shinji Aida, Osamu Sugiyama, <u>Mika Ihara</u> , Masahiro Kurata, Norio Maki)	2019. 6
口頭発表（共）	「地域医療 BCP 分野の激甚災害に対する取り組みと課題」平成 30 年度 京都大学防災研究所研究発表講演会、於京都大学防災研究所（下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・庵原美香・相田伸二・杉山治・鈴木教雄・倉田真宏・牧紀男）	2019. 2
口頭発表（共）	「救急医療と耐震工学とが連携した京都市の自然・人為災害に対する地域医療 BCP(事業継続計画)構築」平成 29 年度 京都大学防災研究所研究発表講演会、於京都大学防災研究所（下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・庵原美香・相田伸二・杉山治・鈴木教雄・倉田真宏・牧紀男）	2018. 2
その他（代表）	日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援「被災者のスピリチュアルペインに配慮したソーシャルワーク実践モデル確立への基礎研究」研究代表者(2024 年 7 月- 2026 年 3 月)	2024. 7